

しばらく続いた11月の取組紹介も今回で終了です。このオリンピック・パラリンピック・ムーブメント事業にご協力いただいている推進校のほとんどが年内で事業を終了されますので、今年度の取組も残りわずかとなってきました…！！

今回は、県立赤穂特別支援学校と淡路市立東浦中学校の取組を紹介します♪(*'ω'*)

★11月26日（木）県立赤穂特別支援学校

車いすバスケットボール選手4名をお招きし、一緒に交流、体験を行いました。BGMに手拍子で、講師の方々の入場から大盛り上がり！！

選手の方々のデモゲームでは、スピード感ある車いす操作、パスやシュートなど、どの動きにも驚きの声が上がっていました。その後の体験活動では、グループに分かれて選手の方々から基本操作を教えていただき、直進や旋回など、操作のコツを聞いたたびに上達している様子が伺えました。

普段、学校の授業で球技はされないとの事でしたが、休憩中も車いすに乗って生徒同士でシュートを練習したり、簡易ゲームでは、声を出してパスを出したりコートを走りまわったりと、白熱したゲームを繰り広げていました。

体験活動の最後には、講師の方から「何か好きなことを見つけて頑張してほしい」「挑戦を続けていたら世界が広がる」と、障がいの有無に関わらず、努力し、挑戦し続ける大切さを教えていただきました。

先生方も、「生徒たちのこんな新しい表情が見られるなんて」と、新たに出会ったスポーツを楽しむ生徒の皆様の姿に大変喜ばれていました。



★11月27日（金）淡路市立東浦中学校

北京オリンピック女子陸上5000メートル代表 小林 裕梨子さんを講師としてお招きし、「夢に向かって～今できること、今しかできないこと～」と題した講演会が行われました。3年生が対面で講演を聞き、1、2生はHR教室でライブ配信された講演を視聴しました。

ご自身のプロフィールやこれまでの成績を紹介いただく中で、目標を持つ大切さ、目標の持ち方を教えていただきました。

また、現役時代に成績やケガで悩んでいた時に、姉やチームメイトが助けてくれた恩返しの気持ちで大きな結果を出せることが多かったという自身の経験から「誰かのために、と頑張れる力は偉大。みんなも大事にしたい人を見つけてほしい。そして、そういう人を支えてあげて、支えてもらって、大切にしてほしい。」と伝えられました。

最後は、「頑張っているけど、もちろん落ちる時はある。でも、まずは目標に向かって頑張ってみる。少しずつ成長していけることが大切。夢に向かって目の前の事に挑戦してほしい。1つでもいい。得意なこと好きなことを見つけて、努力する、頑張ることの素晴らしさを感じてほしい。」と明るく講演を締めくくられました。

